

平成27年度 岸和田市指定管理者モニタリングチェックシート

1. 基本情報

岸和田市立浪切ホール

| | |
|----------|-----------------------|
| 施設名 | 岸和田市立浪切ホール |
| 所在地 | 岸和田市港緑町1番1号 |
| 指定管理者名 | JTB・南海グループ |
| 公募/非公募の別 | 公募 |
| 指定管理期間 | 平成23年4月1日から平成28年3月31日 |
| 指定管理料 | 241,564,000円 |
| 施設所管課名 | 企画調整部文化国際課 |

2. 事業報告書の概要

| | |
|-----------|---|
| 管理業務の実施状況 | 基本協定書に基づき、施設管理を適切に実施した。設備の点検を行うとともに、利用者に大きな負担をかけない範囲で、空調の温度、証明等、環境に配慮した維持管理に努めた。 |
| 運営業務の実施状況 | 自主文化事業は52事業実施。自主文化事業のうち、祭りの広場でのイベント等を除き、33,291人の入場があった。ジャンルは、古典芸能、演劇・舞踏、クラシック系、POPS系等の他、「松竹大歌舞伎 四代目中村雁治郎襲名披露公演」に先立ち、「お練り」や、マドカホール・自泉会館と合同での「岸和田城庭園八陣の庭薪能」を実施し、まちの魅力向上に貢献した。 |
| 施設の利用状況 | 利用者数推移（3カ年度分記入してください。） H25：532,034人 / H26：513,236人 / H27：517,873人 |
| | 入場料収入等推移（3カ年度分記入してください。） 利用料金 H25：120,276,968円 / H26：113,930,296円 / H27：113,797,648円 |
| | 上記推移の理由等 |
| | 平成26年度は、前年度と比して大ホールの利用が減少したことにより利用者数が減少したが、平成27年度は、前年度と比して大ホール利用が横ばいであったものの、小ホール、交流ホールの利用件数・利用者が増加し、全体の利用者数が増加した。 |

3. 前年度モニタリングの結果を受けての取組み状況

| | |
|----------------------------------|---|
| 前年度のモニタリング結果を受けて、どのような取組みが実施されたか | 平成27年度は、指定管理期間の最終年度にあたり、「お練り」や3館合同事業での「岸和田城八陣の庭薪能」など新しい事業に取り組んだ。前年度に引き続き、地域ケーブルテレビにレギュラー出演することで、積極的にホールのPRに努めた。 |
|----------------------------------|---|

4. モニタリングチェック

| | |
|------|--|
| 総合評価 | 個別評価・理由・意見等 |
| A | 1 履行確認 A 協定に沿った管理運営を行った。 |
| | 2 サービス水準の確認 A 適切に提供している。 |
| | 3 事業収支の確認 A 適切に執行している。 |
| | 総合評価理由・意見等 |
| | 周辺エリアを代表する文化芸術を発信する施設である。文化事業の取組みについては、大きな努力が見られた。 |